

●受難節第六主日

泉のほとり

今月の詩編「第四十一編」

いかに幸いなことでしょうか

弱いものに思いやりのある人は、

災いのふりかかるとき

主はその人を逃れさせてくださいます。



神が望まれること

この世の生活の中で、わたしたちはいろいろなものを所有します。でも、よくよく考えると、そのすべては与えられたものです。子どもの場合にはそれがはっきりしていて、自分のものと言っても、すべて親や他の人からのプレゼントです。わたしたちの教会は、建物と土地を持っています。この土地は以前の所有者から買ったものです。その人はその前の所有者から買ったでしょう。そうやって所有者を巡って、最初の人は誰から買ったのでしょうか。そう考えると、もともとは誰のものでもないものを、今わたしたちが自分のものとしていることがわかります。

主イエスがひとつのたとえ話をされました。ある人がぶどう畑を作ったのです。荒れた土地を開墾し、石を除き、肥料を入れ、よい土を作ってぶどうの苗を植えます。病気を防ぎ、山の青から守って畑を育てます。実がなる頃になると、周りを囲い、見張りのやぐらを立て、ぶどう酒を搾る搾り場を掘って、すっかり用意を整えます。もうあとは収穫を待つだけというときに、この人は不思議なこと、ぶどう畑を雇い人に任せて旅に出してしまうのです。

後を任せられた農夫たちは、ぶどうの世話をしながら収穫の時期を迎えます。多くの実りを得て、彼らは喜んでしょう。でも彼らは分け前を主人に送ろうとはしませんでした。全部自分のものに

したくなったのです。主人が遣わした僕を袋叩きにして何も持たせずに追い返します。次の僕は袋叩きの上に侮辱して返し、その次の僕は傷を負わせて返したのです。

最後に主人は自分のひとり息子を遣って来ました。それを見た農夫たちは、あれは跡取り息子だから、殺してしまえばこの畑は自分たちのものになると考えて、息子をぶどう畑の外で殺してしまおうのです。主人は怒って、帰って来てこの農夫たちを殺し別な人々にそれを任せると主は言われたのです。

これはユダヤ人の話です。本来の神の民であったユダヤ人が主イエスを拒否して殺したので、今は異邦人であるわたしたちが神の民になっています。でもこれはユダヤ人だけの話ではありません。

ぶどう畑をひとりで作り上げた主人が、どうして最後の、最も喜ばしい収穫の時期を、農夫たちに任せただけで、神さまが、喜びを独り占めしないで、分かち合う方だからです。神さまがわたしたちに命を与え、この体を作り上げて、他のすべてのものを与えてくださったのは、わたしたちと喜びを分かち合うためです。だからわたしたちも、この体を用いて得た収穫物を独り占めしないで、神さまと分かち合うのです。その時、わたしたちの喜びを、神さまもまた喜びとしてくださるでしょう。そしてそのようになわたしたち自身をも、神さまは喜びとしてくださるのであるのです。

福音が為しうること

このお片は死から力を奪われ、福音を通して命と不死とを明らかにされました。

テモテへの手紙と 一章一〇節

死は

テ レビの想像をし

新聞の中で感張っています。

その現れるところで、

偉そうにしています。

でも、死は

そう振る舞っているに過ぎません。

彼が筋肉を動かして誇示しても

そこにあるのは骨だけです。

しかしあなたです

死から筋肉を取り去り

これを骸骨にしてしまわれたのは、

わたしをお救しく下さい。

あなたのキリスト者をお救しく下さい。

何度も何度も、

この偉そうにしているものを

恐れるままのわたしを。

わたしをお救しく下さい。

あなたの福音よりも

この偉そうにしているものを

信じてしまうわたしを。

「不死」とは、今なお隠されている、命の全

き啓示が十分に開示されることです。

カルヴァン

R・ポレン著 「祈る」より

楠原博行氏の訳による

今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行して、ロビーでコーヒーマーサービスがあります。園舎二階のリズム室では、ぶどうの会が開かれ、礼拝で受けた恵みの分かち合いをします。

○第二礼拝後ホールで讚美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○昼食後、レント感想発表会の会をホールで行います。

教会員が一年間に受けた恵みの証しをします。

○感想発表の会の後、イースター礼拝での受洗希望者の試問会をカナルームで行います。

○今週は受難週です。左記のような日程で、レント感想発表の会が行われます。木曜日は聖晚餐礼拝です。

一六日(火) 朝一〇時半と午後七時

一七日(水) 朝一〇時半と午後七時

一八日(木) 午後七時から聖晚餐礼拝

一九日(金) 朝一〇時半と午後七時

○来週はイースター礼拝です。主イエスの復活を祝って礼拝をします。朝一〇時からの一回礼拝です。

○再来週二十八日は、四月の教会総会です。昨年度の活動報告を聞き、各会計の決算を承認します。教会員はご出席ください。

○二十八日も朝一〇時からの一回礼拝です。

○八月に行われるコイノニアキャンプの新しいお奨めと申込用紙を配布しました。どうぞご覧ください。

○コイノニアキャンプで着用するポロシャツの販売を四月二十一日のイースターまで受付します。お早めにお買い求め下さい。

四国だより

春の訪れと共に教会の庭に育った花びらの大きい桜の花が咲き続けています。

二月末に四十代のご夫妻が「長い間、何年も礼拝出席をせずに過ごした事を深く後悔しています。一からやり直したいと思い、こちらの教会に転会させていただけないでしょうか」との事で、これまでの経緯を話されました。

そこで神さまご自身がアガペーの愛そのものであり、人間にはない永遠の真実そのものの御方でおられること、その御愛を全ての人々に懸々と注ぎ続けておられるその目線の中に貴方がたもいらつしやるのですよとお伝えした時、ご主人が「今思えば、自分の人生にその後愛が注がれていたのに、恩知らずに生きてきたと思えます・・・」そう話しながら、何度も何度も涙を拭っておられました。本気の気配をはつきりと感じ、どんなに主がお喜びであらうかとうれしく感謝致しました。

三月二十四日(日)に転入されましたが、この日は私が神戸で生まれた日なので、種からの思いがけないプレゼントの様に思えました。

昨年お招き下さったT教会のT先生ご夫妻から先日もお便りをいただきあちらの教会の皆さまが私共の教会を親しみを込めてずっとお祈りして下さっている事がわかり、その様な不思議なお導きをして下さった主の聖名を覚えております。

いつも確いともお祈りを皆さまよりいただき、うれしく感謝を申し上げます。主のうるわしき祝福をお祈り申し上げます。

シオン・フルゴスベル・チャーチ

田端良恵

聖書の会

●4月17日(水)は受難週のため、お休みです。

聖晚餐礼拝

●4月18日(木) (午後7時)

讃美歌 142番 205番

説教 十字架が語る物語

聖書 1コリント1章18～25節

説教者 吉村和雄 牧師

次週礼拝

●イースター礼拝(午前10時)

讃美歌 II 131番 151番

説教 必ず復活すると

聖書 ルカ24章1～12節

説教者 吉村和雄 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 299番

讃21 393番

説教 「誘惑に陥らぬよう」

聖書 ルカ22章39節～46節(新約P155)

司式 山名 隆史 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄 允湜 高牧師

前奏曲「丘の上に十字架たつ」

○讃21 299番

1. うつりゆく世にも かわることない
主イエスの十字架は われらのほこり
2. おそれとなやみの せまるときにも
十字架は平和と よろこび満つる
3. 十字架の上より 光はさして
ゆくべき旅路を 照らしみちびく
4. 喜ぶときにも 楽しむ日にも
主イエスの十字架は 平和与える アーメン

○フルートによる讃美

「あなたも見ていたのか」 賛美歌第2篇177番

○讃21 393番

1. ころも一つに 平和を求め
主を愛する愛 明るく燃やそう
主はぶどうの幹 われらその枝
主はわれらのもの われら主のもの
2. 恵みの子たちよ 交わり深め
愛とまこととを 互いに誓おう
われらのきずなが 弱まる時も
強めてください 主の愛により
3. 主はわれらのため 苦しみを受け
その友のために 命を捨てた
われらも互いに まことの愛を
兄弟姉妹と 共に分け合おう
4. 分かつた民が 一つにされる
その日が来るのを われらは望もう
主の光を受け その輝きを
世界に示そう 主の弟子として アーメン

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 133番 276番

詩篇 第41編(旧約P874)

説教 「希望が見えない時にも」

聖書 ローマ4章18節～25節(新約P279)

司式 山名 隆史 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「いつわりの世に別れを告げ」 J.S.バッハ

○讃美歌 133番

○フルートによる讃美

「あなたも見ていたのか」 賛美歌第2篇177番

○聖歌隊による讃美

「棕櫚の葉」 J.B.ワル

祭りののために 棕櫚の葉 全ての道に飾られぬ

我が涙をぬぐうため イエス来たり給う

この日ぞ 喜び歌えよ 声を合わせて 高らかに

喜び歌えよ 我が救い主に 御栄あれ

喜べ エルサレムよ 自由の歌を響かせよ

とこしえの命の主 我らを解き放ち給う

来たりて歌えよ 人みなは 声高らかに

ホザナ 讃えよ 我が救い主に 御栄あれ

○讃美歌 276番

聖餐曲「ファンタジー第6番ニ短調」 G.ph.ワグ

後奏曲「恵み深いイエスを迎えよ」 J.S.バッハ

聖餐曲「ファンタジー第6番ニ短調」 G.ph.ワグ

後奏曲「恵み深いイエスを迎えよ」 J.S.バッハ

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。